

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第361号 平成15年1月



横田 博

目

次

	頁		頁
1) 年頭のご挨拶	宮川栄次 … 2	6) 西多摩で活躍する	
2) イグアスの滝 (3)	坂井也彦 … 3	ボランティア団体紹介(4) 広報部	… 10
3) 西多摩医師会忘年クリスマス会		7) 各部だより	
	小林杏一 … 5	学術インフォメーション 学術部	… 11
4) 新入会員紹介	広報部 … 7	8) 理事会報告	広報部 … 21
5) 地区だより		9) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 23
日の出地区	馬場眞澄 … 8	10) お知らせ・訃報	事務局 … 24
福生地区	池田譲治 … 8	11) 表紙のことば	横田 博 … 25
羽村地区 稲垣壮太郎・込田茂夫	… 8	12) あとがき	馬場眞澄 … 25
あきる野地区	鈴木道彦 … 9		
瑞穂地区	新井敏彦 … 9		

年頭のご挨拶

西多摩医師会 会長 宮川 栄 次

新年明けましておめでとうございます。

2003年、今年も激動の年になりそうです。平成不況・デフレと厳しい経済情勢が続く中、昨年4月に診療報酬2.7%のマイナス改定、10月には70歳以上の高齢者の医療費自己負担が1割（高所得者2割）となり、月額負担の上限が外来・入院とも大巾に引き上げられました。健保法改定の段階実施はさらに続き、本年4月から健保本人の外来・入院および家族の入院の医療費が自己負担3割になる予定となっています。それだけでなく、保険料引き上げも予定されています。日医は、「診療報酬マイナス改定の根拠とされた政管健保の収支状況を検討、事業運営安定資金残高を試算した所、2002年度からすでにプラスになるということが明らかになった。このことからみても国民の負担を3割に増やす必要がないことは明白で、4月施行を凍結、さらには撤廃のための主張を続けていく」と宣言しています。西多摩医師会員の皆様にもご協力の程、宜しくお願い致します。

一昨年からはまった高齢者インフルエンザ予防接種が、12月28日で終了しましたが、23区では本年2月28日までと、三多摩地域との間に格差がみられます。本年は格差是正に努力いたします。また、市町村との間で契約されます予防接種委託料・学校医報酬等の引き下げ案が現在検討されている所です。会員各位の納得いくような形でまとまるようにしていきたいと思ひます。

昨年12月14日開催されました多摩医学会は、皆様のご協力により、当番医師会として責任を果たすことができました。西多摩医師会員の発表が例年通り多数あり、西多摩の学術レベルの高さを改めて感じました。

また、西多摩医師会会員カード発行を始めましたが、多くの会員が希望されました。医

療連携事業の一環として開始しましたので、病診連携・身分証明に役立たせていただきたいと思います。いつでも発行できますので、ご希望の先生は事務局へお申し出下さい。

東京都は、保健医療圏と基準病床数の改正を行いました。西多摩では、公立阿伎留および福生病院の新病院建設計画が進んでいるため、大きな問題となる所です。今回の改正で西多摩医療圏の基準病床数は3943床となりました。既存病床数が4492床ですので既にオーバーしております。今後、介護保険療養型病床への転換がどう進んでいくのか、その動向が気になる所であります。

近年、医師のモラルが問われています。少子高齢化に伴い社会の医師への期待感はますます大きくなっていくでしょう。臓器を診る医師でなくヒトを診る医師に。今、病院や医師の評価システムが検討されています。また、医療はIT化がかなり遅れているといつも指摘されています。医師の社会的報酬レベルを妥当なものと言われるために、患者さんのためになることを積極的に導入して行かねばならないことを認識していく必要があります。

昨年は役員改選があり、3名の新役員を迎えました。役員全員、各場面で活発な活動ができたと思ひます。今年はさらにバージョンアップが計ればと考へております。また、永井事務長をはじめ、事務員の方々にはますます複雑になる事務量にもかかわらず正確に処理していただき、大変感謝いたしております。本年も宜しくお申し上げます。

会員各位におかれましては、このような社会状況の中、色々ご苦勞が絶えない毎日かと存じますが、「やるときはやる」という気構へでご協力、お願ひしたいと思ひます。

本年も宜しくお願ひいたします。

イグアスの滝 (3)

坂 井 也 彦

ラテンアメリカ紀行 (田中耕太郎・岩波書店・昭和15年・定価3円、以下「ラテン紀行」)によれば、ブエノスアイレスとは、(良き空)という意味のようです。英語ならビューティーエアーといったところでしょうか。パレルモ公園をうろつく私の頭上にもすばらしい晴天が広がっていました。「ラテン紀行」によれば、

1. パレルモ公園は面積534町歩、この点において世界第二位であり、(第一はパリのボア・ド・ブローニュ)、我が上野公園の六倍以上もある。……………

現在は、西立川の昭和記念公園が面積で上野公園をしのいでいると思われませんが、それにしても広い。歩いて歩いて、ホテルに帰り着いたときには、膝がわらって、腰が泣いていました。こういう時は、ぬる目のお湯にたっぷり時間をかけて入るのが良いのですが、浴槽は浅めに作ってあるので、膝か腰のどちらかが水面を出てしまいます、風呂は日本独自の文化であるのを痛感しました。

翌日は、フロリダ通りを散歩。ちょうど、吉祥寺のサンロードくらいの繁華街です。たまたま、旅行代理店で「日帰り牧場ツアー」を見つけてさっそく参加することにしました。手持ちのドルが少なくなってきたので、一万円をドルに交換するために東京銀行のブエノスアイレス支店を訪れました。1ドル=100円の為替レートの時期でしたので100ドルもらえたら50ドルしかもらえなかったのです。ここは異国です。選択肢は東京銀行しかありません。トラベラーズ・チェックはまだ先々に備えて使えません。私は防弾ガラスが震えるほどの大声で、一番奥で偉そうに座っている支店長(?)に向かって、「非国民」と怒鳴りました。その後、東京

銀行は合併して、東京三菱銀行となりましたが、あのと時の怒りは今も忘れていません。また、その他の銀行についても不愉快な思い出が私の記憶の中に累積していますが、本題と違うので割愛します。

ブエノスアイレス郊外へ向かうバスは、なぜか定員いっぱいでした。私の尻が大きいので、隣の席の人に物理的な迷惑をかけていました。「ラテン紀行」によれば、

2. 車は果てしなく続いているアルゼンチンの平野の一角を走る。市街に近いところは一帯の牧場である。籠坂峠の切り通しに見受けるものよりも遥かに大きい薊が雨に濡れて点々と緑野の上に鮮やかな模様を描いているのが何となく異国風な感じを与えるだけで、所々に柳が生えており牛が放牧してある平和な光景など、英国の田舎を思い出させるものがある。……………

私はうつらうつらして風景を観察していません。1時間半ほどで、牧場に着きました。帽子をかぶったカウボーイが牧場を疾走しています。正確には彼らはガウチョという名前と呼ばれているそうです。ガウチョたちは走る馬上から片手に持った輪を杭に向かって投げますが、妙技という程の腕前ではありません。10回で3回の成功率といったところでしょうか。日本の「やぶさめ」は両手を離して、弓を射るので難易度はずっと高いと思います。ふと気づくと日本人の輪が出来ています。側に近寄ってみると男性ばかりです。輪の中にうらわかき日本人女性が一人でぼつねんと立ちすくんでいます。誰も話しかけないのでかえって気の毒でした。蜜にたかる蠅のようだなと思っていると、父親らしき人物が戻ってきました。すると、輪は崩れ始め、分散して、空白地帯となりました。

銅鑼が鳴りました。アサードという牛肉料理の準備が出来たようです。天井の高い宴会場に入り、がちりした椅子に座ります。丸太を半分は割っていぶした机の上に金属の皿が据えられています。卓上のグラスにワインが注がれ、広い舞台の上ではジプシー風の愉快な音楽が奏でられます。焼き立ての牛肉が次から次へと運ばれてきます。舞台の上では田舎風のダンスが披露されています。タンゴとも少し違いますが、踊りのくぎりにはお辞儀があり、その度に観客の拍手が沸き起こります。飲み放題食い放題で酩酊の度合いが高まると、ジプシーのリーダーが、すかさず国の名をあげて観客を起立させエールの交換を促しました。USA、カナダ、英国、ドイツ、イタリア、スペイン、日本、などなど、世界中の観光客がこの牧場に集まっているような錯覚に陥りました。

各自のバスに分散して、私たちは帰途につきました。まだ宴会の余韻が残って、座席によっては会話や議論が泉のように湧いています。……………運転手に起こされた時には自分が最後の乗客になっていました。運転手が「んA」いゆおっいあ？」と尋ねます。私はホテルの名を答えましたが、運転手は理解不能。私は、ふいに、「スタチオン」という単語を口走りました。運転手は窓の外を指しました。バスはレティー口駅の広場に到着していました。これでホテルに帰れます。

翌日は、プロペラ機でイグアスの滝へ出発です。翼の下はえんえんと続く緑の絨毯。それを切り裂くのが銀の川ラプラタです。ことわざにいわく、一呑舟の魚支流に泳がずしかし、どこが本流か支流が見分けがつかないのが悔しいです。3時間ほどでイグアスの滝南方の空港に着陸しました。気温はそれほど高くありません。ただし、紫外線がすごい。サングラスを用意しておけば良かった。空港からイグアスの滝までタクシーで約30分かかります。私はそのまま、巨大な陸橋の検問を越えてブラジルに入国しました。

ホテルにチェックインすると、指定された

部屋は2階で静寂そのもの。TVの電源を入れてみると、可愛くて、なおかつ、セクシーな女性が仕切る幼児番組を放映中でした。私は彼女にマリアという名前をつけました。どうやら、ブラジル国内のTVの電波が国境まで届いているようです。私にはアルゼンチン公用語(スペイン語)とブラジル公用語(ポルトガル語)の区別はつきません。ただし、全国から参加している子供たちの顔付きや色が、アルゼンチンとは思えません。冷蔵庫にジュースを発見、飲んでみると非常に甘い。砂糖と人工甘味料をありったけぶちこんだような粘っこい甘さです。浅い眠りの後で、1階のフロントにおります。私が食べるしぐさをして見せると、ホテルマンが1階の奥を指さしました。その方向をうろうろしていると、松明で照明をあかあか灯している食堂を発見。バイキング形式ですが、大皿の上にてんこ盛りです。しかも、私が満腹になるまで一人も宿泊客が現れません。滝の西側パラグアイにカジノを中心とした繁華街があり、宿泊客はそこまで足を伸ばしているようです。しかし、あのご馳走の山が廃棄されるのは惜しい。悶々としているうちにブラジル最初の夜が過ぎて行きます。窓の外には満天の星が瞬いています。翌朝、本場ブラジルコーヒーの洗礼にあいました。芳醇かつ繊細な香りというのでしょうか。「ラテン紀行」によれば、

3. 実(コーヒー豆)の収穫には一定の時期があり、(時期)尚早と遅延を避けなければならない。一枝に付着している多数の粒を見ると、緑色の未熟のもの、紅色の半熟のもの、暗紅色の成熟のもの、それを通り越して黒く乾燥したものがある。その中暗紅色の程度のものが皮の実に及ばず発酵作用でもっとも頃あいのものだそうである。最上品質のものを得るためには、この程度のもののみを摘み取るのであるが、それは機械的には行かず、そのためには非常に努力がかかる。この故に玉石混淆で一枝に付着している実を全部無差別にしごいて取る外はないのである。……………

(つづく)

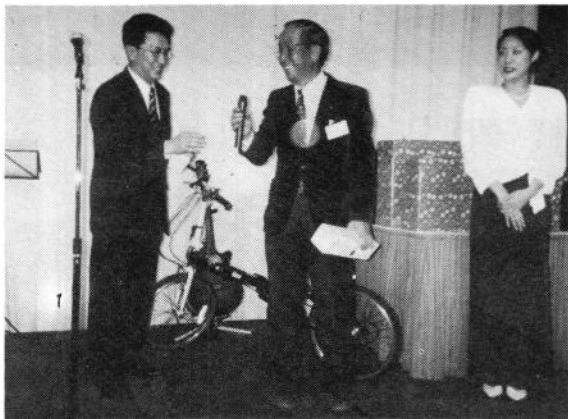
西多摩医師会忘年クリスマス会

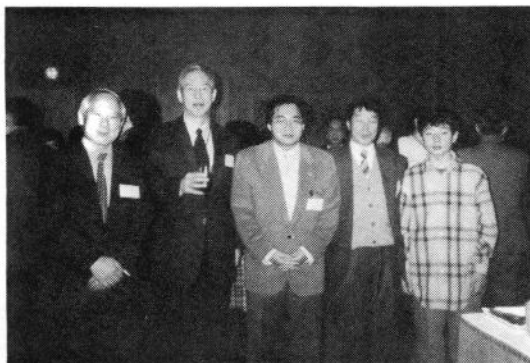
各地区及び会員各位の相互理解の増進と地域医療の発展を目指した恒例の忘年クリスマス会が12月16日(月)にフォレストイン昭和館で開催されました。当日は、勤務医・職員・家族の方々にも参加を頂き、総勢180余名の出席を得られました。

宮川会長による開宴の挨拶があり、すっかり元気になられた川崎健一郎先生の乾杯の音頭でパーティーが開始されました。20名ほどの出席された子供さんたちにはそれぞれプレゼントが配られ、美味しいお食事と和やかな雰囲気の中で歓談が続き今回は、2002年NHK「趣味悠々」のピアノ塾講師である角聖子さんによる音楽の楽しさについてのトークと演奏が披露されました。

新入会員紹介では、福生病院循環器科部長の井関先生、永仁医院の古川先生、ひかりクリニックの土屋先生が挨拶されました。恒例となっているくじ引きでは、1等の折りたたみ自転車を総合病院の馬場先生のお父様が当てられ、20等までの景品が次々に渡されました。

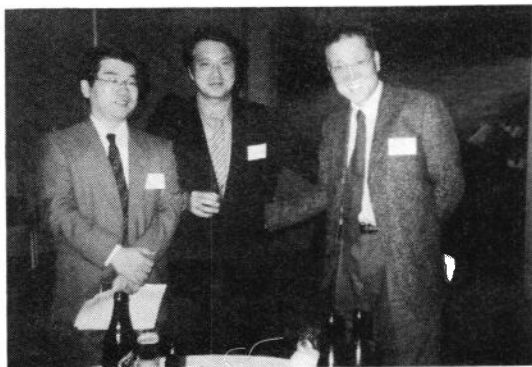
宴もますます盛り上がる中、元フォーセインツのダニー石尾さんらによる演奏があり、テネシーワルツでは道又先生が飛び入りで参加され喝采を浴びました。その後、全員でクリスマスソングを合唱し、最後に真鍋副会長による閉会の辞で会は終了しました。(小林杏一)





MERRY
X'MAS





新入会員紹介

永仁醫院 古川朋靖 会員



皆様、初めまして。古川朋靖と申します。昭和63年に順天堂大学を卒業し、同大学耳鼻咽喉科学教室に入局、医師として研修を積んで参りました。この度御縁があり、この羽村の地に自宅兼医院を建築し、12月2日に耳鼻

咽喉科を開院させていただきました。さらに西多摩医師会にも入会させていただくことになりました。大学病院では各種関連病院勤務、埼玉医科大学平衡神経科出向、外来医長などを経験し、めまいグループに属しておりました。

家族構成は、家内との二人であり、子供はまだおりません。休日は二人で伊豆へ行くことが多く、日帰り温泉に入り、海辺でバーベキューもどきをしたり、趣味の海釣りをしたりしております。釣りは各種するのですが、最近は特にイカ釣りにはまっており、一人で夜中の港をうろついたりしております。

若輩者であります。積極的に地域医療に参加をさせていただきたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。

地区だより**羽村地区****羽村市三師会15周年記念**

平成14年11月30日フォレストインにおいて羽村市三師会15周年記念パーティーが開催されました。出席者は、来賓として並木心羽村市長、福生市三師会会長内山大先生、青梅市三師会会長足立卓三先生、会員32名でした。

羽村市三師会では、毎年羽村市主催の健康フェアに参加、市民の健康度チェックを行い、医療関係講演会、親睦会、ゴルフコンペ等を開催しております。

(稲垣壮太郎)

**日の出地区****日の出地区忘年会**

忘年会に類似した会として、町の保健衛生事業連絡会議の終了後、町の担当職員と医師会員との懇親会が催された。今年は12月6日午後6時半から宝来やで開催され、高橋助役の挨拶、湯川文朗日の出地区医師会長の挨拶、続いて13年度の保健衛生事業報告と14年度の事業計画が町役場の担当者から説明された。会終了後の懇親会では、本年4月まで地区長を勤められて保健事業に尽力された川崎健一郎先生も出席された。6医療施設の医師9名のほか歯科医師会から1名(森田歯科医師)の出席があり、全員の自己紹介をしながら懇親会は和やかで有意義に経過した。2次会はカラオケスナックで各自の喉を披露したが、少し風邪気味と言われながら元気に歌われた川崎先生の無法松の一生が印象的であった。

(馬場)

福生地区**福生地区忘年会**

平成14年12月12日(木)、恒例の「福生市医師会・福生市休日診療所合同忘年研修会」が、これもまた恒例の福生市「あたま」で開催されました。参加者は、医師会17名、福生市関係・看護師23名、薬局関係4名でした。

福生医師会長玉木先生の開会挨拶の後、野澤久人福生市長をはじめとする来賓の方々5名からご挨拶がありました。次いで、羽生健康管理課長から、平成14年度の休日診療所の診療状況について、月ごとの増減はあるものの全体では昨年度に比べて患者数が増加している事が報告されました。

内山先生のご発声による乾杯の後、歓談に移りましたが、例年より盛り上がっているように見えたのは、司会担当幹事の欲目でしょうか？

9時30分、宮川西多摩医師会長と渡辺福生医師会副会長のダブル締めでお開きとなりました。

余談ですが、慣れない司会のプレッシャーから開放された筆者は、二次会・三次会とはしゃぎすぎて、翌日に体調を崩しました。新年はこのような事がないように自重したいと思います。

(池田譲治)

羽村地区 羽村地区忘年会

師走のとても寒い13日の金曜日、羽村地区の忘年会が例年のごとく割烹「かつら」にて、18名の会員の参加を得て開催された。

市長さんと今回は市議会の秋山議長さんにも参加いただき、ごあいさつを賜った。昨年6月に亡くなられた山田登先生へ黙祷を全員起立で捧げた後、「さえた話が無いと忘年会で3年繰り返しているが、負けずにがんばりましょう」と真鍋会長からあいさつがあった。



酔いが回った頃、例の医療機関に多数送りつけられた脅迫状の話題が出た。「アニータさんからのお手紙」などと大笑いになったが、皮肉なことにこの話題が今年の忘年会で一番盛り上がった話題だった。恐るべし「13日の金曜日」である。救いは古川先生が入会されたことと、長年の校医の功労で堤先生と松田先生がそれぞれ市と都より表彰されたことであろう。写真はきれいどころより花束を受け取って微笑むおふたりである。

(込田記)

あきる野地区 あきる野地区忘年会

12月12日、初雪が解けずに残る秋川溪谷の山水において、医師会と市健康課の保健連絡会兼忘年会が開催されました。小机地区長と健康課の沖倉氏より開演の挨拶、近藤先生の乾杯の後、お酒と料理を楽しみつつ、普段ゆっくりと話す機会のない市の職員の方々や会員同士で和やかな歓談となりました。恒例のビンゴ大会で盛り上がり、カラオケが始まると会は最高潮に達しました。道路も凍る寒い日でしたが、暖かく楽しい会となりました。

(鈴木道彦)

瑞穂地区 瑞穂町地区忘年会

瑞穂町医師会の忘年会は、例年より遅く12月20日(金)に羽村市の割烹「かつら」で医師会員5名(A医師会員数10名)、保健センター関係者17名で行なわれました。今回は連休前日のため医師会よりの出席者は若手のみとなり、例年より少し淋しい忘年会でした。

宴は新井医師会長、森田保健課長の挨拶で始まり、一年間、医師会と行政の連携が滞りなく進んだことが確認されました。その後、恒例のビンゴゲームで盛り上がり、最後に、高水先生の3本締めでお開きとなりました。

(文責：新井)



西多摩で活躍する あきる野市日本語サークル ボランティア団体紹介(4)

あきる野市日本語サークルは、あきる野市に在住し言葉の上で支障を来し困っている在日外国人に日本語を教えるボランティア活動として平成7年に発足しました。

平成12年度よりあきる野市社会福祉協議会のボランティア活動の1サークルとして活動しています。現在会員は約15名おり東京日本語ボランティアネットワーク（NTVN 東京都新宿区神楽河岸1-1）に加入しております。

当サークルの活動は日本語学習とイベント、国際交流が主なものです。

学習は毎週金曜日の午後7時半より9時半まであきる野市ふれあいセンターで行っております。

今まで当サークルに在籍した外国人はアメリカ、ブラジル、トンガ、モロッコ、ニュージーランド、マレーシア、中国、台湾、韓国、香港、シンガポール、タイ、ラオス、ルーマニア、フィリピン、アフガニスタン、タジキスタン等多岐に及んでいます。

そして、日本に永住する人と、技能取得等のため短期間滞在する人に別れ、その中には日本語検定試験を受け資格を得て帰国したいと希望し当サークルで学習している人達もおります。

当初ひとりの講師が学習者全体を相手に講義を行う講義方式でありましたが、学習者の各々が国も違い日本語の理解度も違うので全体として見た時に教習効果が悪いと、現在では各学習者のレベルに合ったテキストを選び、学習者一人に我々ボランティアが一人ついて日本語を教えるマンツーマン方式を採用しています。

日本に永住し日々の暮らしを送る中で会話と漢字の読み書きの出来ることが必要となります

が中国、韓国系の人をのぞいて横に文字を書く習慣のある国々の人達にとっては漢字の読み書きは難解で根気のいる学習です。しかし新聞や各種書類が読め理解できなければ日本の社会にとけ込めないと考えて皆一生懸命努力をしています。

イベントは年6回行う、新年会、花見の会、各国の料理の会、バーベキュー、秋のハイキング（見学会）、忘年会などです。

新年会では書き初め、カルタ取り、各国の料理の会ではボランティアが味噌汁や煮物の作り方を教え、学習者より中国料理やタイのエスニック料理などが披露されました。

花や紅葉を鑑賞するハイキングをかねて和紙の作り方、酒や醤油の製法や日本の鯉等を見学したり、箏曲、茶道など日本文化を体験出来るように配慮しています。

最近では両国の江戸東京博物館を見学し、とても好評でした。日本の美の心、風俗、習慣などイベントを通じて理解され、相互の信頼と交流が生まれて来ます。

当サークルの会員も各々仕事を持ち忙しい中を繰り合わせて時間を作り在日外国人をサポートするために頑張っております。

会員の夢はこのボランティア活動を通じて世界中に日本語を理解し日本を深く知った人々があり、何処の国の人達とも交流の出来る平和な世界であって欲しいとサークル全員が願っております。

あきる野市日本語サークル 代表 川上舜一

連絡先：あきる野市雨間1937-77

電話：042-558-8100



各部だより



学術部

Information



◀1月▶

西多摩医師会学術講演会のご案内

① 日 時：平成15年1月23日（木）

場 所：西多摩医師会館

演 題：「小青龍湯 一次の一手はどう選ぶー アレルギー性鼻炎への対応」

埼玉医科大学東洋医学 外来医長 浅岡 俊之 先生

三公立病院学術講演会

平成14年11月27日（水） あきる野ルピア

『在宅における神経内科領域のリハビリについて』

青梅市立総合病院 神経内科 高橋 眞冬

青梅市立総合病院は青梅地区の第三次救急を行う中核病院として多岐にわたる神経疾患を受け入れています。神経内科へ入院された方のうち約60%は救急車で、また疾病別には40%は脳血管障害が占めています。経過が多岐にわたり治療にても後遺障害を残すもの、また悪化していくものも多くみられますが、生活の質を保つ必要もあり短期の入院治療を目指しています。入院当初よりリハビリテーション科医師・技師、看護師、医療福祉士を中心として医療の質を高めるべく、システム工学的手法を用いたクリニカルパスを作成して療養計画の作成と退院調整を行っています。そして在宅療養計画にリハビリテーションを組み込み地域医療連携室等を通じ医師のみならず保健所・訪問看護ステーション・在宅介護支援センター・ケアマネージャー等をまじえて、質の高い生活を取り戻すために高度の医療を提供していく必要があると考えられます。その際在宅療養に求められるものは、疾病と障害に対する不安を取り除き、周囲の人々の理解とその障害に合わせた環境整備・残存機能をうまく生かしていくことを推進していくことであると考えられここに報告しました。

『最近の心房細動治療』

公立福生病院 循環器科 井 關 治 和

心房細動の患者さんは比較的よく日常診療で遭遇する。心房細動治療については最近、日米で相次いでガイドラインが発表され、さらに2002年度 AFFIRM study (ACC) が報告された。これらを参考に、公立福生病院での心房細動患者の一例を検証しながら当院での今後の治療法を検討した。

74歳男性で発作性心房細動 (Paf) に対して以前より aspirin と atenolol を投与されていたが、平成14年6月に発作性心房細動を生じた。この症例は心機能異常や他の合併疾患も認められず後日の電気生理的検査でも洞機能異常を認めなかったため、孤立性心房細動と考えられ、日米ガイドラインでは warfarin か aspirin 投与の適応であり、当院では aspirin を以前より処方されていた。また、本人の症状が強く発作後48時間以内のため薬物的除細動を行ったが、その晩脳梗塞を認めた。

今年度発表された AFFIRM study ではまだ解釈に議論の余地があるが、洞調律を維持するにしても脈拍コントロールを行うにしても、warfarin による脳梗塞予防治療が重要であると思われる。

これらから、孤立性心房細動患者においても65歳以上の方は可能な限り warfarin 療法を施行した方がよいと思われる。また、除細動治療 (薬物も含む) についても、可能な限り3週間の warfarin コントロール後に除細動を施行するのがよいと考える。

第78回 多摩医学会講演会

平成14年12月14日 (土) フォレストイン昭和館

国際規格 ISO 9001:2000年版品質マネジメントシステムによる 診療所業務標準化の試み

西多摩医師会

医療法人 幹人会 福生クリニック

○玉 木 一 弘・大 塚 恵利子・大 野 みどり
加 藤 ミ キ・呉 順 花・玉 木 千 鶴
森 田 恵 子

医療・介護サービスの質に対する社会的要求は、利用者の権利擁護、情報の保全と開示、説明と同意の徹底、EBMの確立、危険予知と過誤防止等の基本理念の実践と、第三者評価手法の構築にある。病院評価機構が緒についたが、小規模な診療所や介護事業所の適正な標準化規格は今だ定まってはいない。今回、内科診療とデイケアを主とする、職員数40名の無床診療所で、ISO 9001規格により業務の標準化を試みた。その手法は無形の医療・介護サービスを品質とみなし、利用者に品質方針を明示しその達成の為、職員参画により業務を受付・問診・診察・検査等々工程化し、責任・基準・手順・資源等を明確に文書化し、評価指標を設定し内部及び外部監査により継続的改善を行うことにある。主観的かつ慣例的手法に陥りがちな医療現場を客観的に省みる作業は、組織としてより安全で満足度の高い医療・介護サービスの提供と充実感ある職場環境作りに有用であった。

チーム医療がもたらした中国製ダイエット食品による高度肝機能障害 の原因追求とその過程 (院内各セクションの協力体制の重要性)

公立福生病院

○薬剤科 小 松 裕 明・内科 若 林 寛 二
内科 鈴木 利 彦・小児科 松 山 健
院 長 中 谷 矩 章

今回我々は中国製ダイエット食品により高度肝機能障害を惹起した2症例を経験した。これらは共に発症前に「織之素こう囊」を服用していた。一方、某大学病院にて同じく高度肝機能障害患者が発症前に中国製ダイエット食品「茶素減肥」を服用していた情報を得た。過去にも「織之素こう囊」には甲状腺末が含有（平成12年12月厚生労働省発表）していた事、及び中国直輸入漢方製剤「抗咳喘丸」にベタメサゾンが含有（平成13年8月当院小児科発表）していた事を踏まえ発症原因がこれらの食品である可能性を考えた。この2種の分析の結果共に同成分でN-ニトロソフェンフルラミンを含有していた事が判明し、後に厚生労働省より全国に発表された。我々は内科医、小児科医、病棟薬剤師の協力体制により原因不明の高度肝機能障害の発症防止に協力できたと言えよう。今回、発症原因が中国製ダイエット食品によるものと推定した過程を述べる。

早期消化器癌への対応

井上医院

○井 上 勇之助

早期胃癌の治療法にEMRが導入され、適応の拡大が進みつつあります。癌発見時の臨床的・病理学的所見が以後の治療法を左右するようになりました。しかし、一線の胃腸科医にとりましては、まだ、早期癌を発見すること、見落さないこと、が主眼であります。さいわい地域性もあって、私の所は同一患者さんを長期にfollow upすることが多いため、発見された早期胃癌の多くを数年にわたって、retrospectiveに観察することができました。また、癌発見時より頻回に検査を行いますと、短期間に多彩な像に変化する症例があります。malignant cycleとしてかたずけることなく、癌の自然史を知ることは大切であります。

早期大腸癌は、I型の腺腫内癌が大部分を占め、又II型の小さい病変は再検査が大変なため、発見時にpolypectomyを行うケースが多いと思ひ、それらについても考察致します。

「たばこと子供の健康」についてのアンケート調査結果

青梅市医師会小学校学校医（内科）

○野 本 正 嗣・足 立 卓 三・荒 巻 武 彦
大 堀 洋 一・小 澤 昌 彦・唐 橋 善 雄
小 林 杏 一・坂 井 也 彦・笹 本 隆 夫
土 田 守 一・成 田 章・藤 野 淡 人
細 谷 純一郎・堀 田 洋 夫・宮 下 吉 弘
百 瀬 眞一郎

青梅市医師会長 石 田 信 彦

青梅医師会は、青梅市内の小学校16校の協力を得、「たばこと子供の健康」についてのアンケート調査を実施した。対象は市立小学校16校の児童全員で、総数8,566名（男子4,429名、女子4,137名）。アンケートは無記名で保護者に記入を依頼した。アンケート回答総数は7,399（男子3,637名、女子3,537名、性別不明160名、無効65名）で、回答率は86.3%であった。

同居する家族の中に喫煙者がいる児童は、有効回答7,334名のうち4,439名で60.5%で

あった。気管支喘息児童（既往者も含めて）605名のうち、家庭内に喫煙者がいる割合は、学校により幅があり47%～87%（平均60%）であった。気管支喘息・アトピー性皮膚炎・花粉症などのアレルギー性疾患を複数有する（既往も含めて）児童では、家庭内に喫煙者のいる割合が多い傾向であった。

児童の受動喫煙による健康被害について、保護者への一層の啓蒙が必要と考えられた。

デジカメを活用した栄養情報システム

高村内科クリニック

○松村 奈々・土屋 倫子・堀部 直子
中野 貴世・高水 秀美・高村 香代子
高村 宏

要旨：外来で患者への栄養情報提供にデジカメの活用を試みたので報告する。①患者にデジカメを貸し出し撮影された食事記録を栄養指導で利用、また予め撮影したモデル献立を教材として利用②手作り糖尿病食レシピの作成③食事関連パソコンソフトの作成、以上3分野で栄養情報提供にデジカメを活用した。①での利点として1) 撮影が簡単 2) ランニングコストが安価 3) 再生が簡単（接続ケーブル1本でテレビへ再生できる） 4) 教育効果が期待できる 5) 紙の記録漏れを補足する 6) 撮影時間から食事摂取時間が判る 7) 長期の保存が簡便に出来る。②の利点として、作りながら撮影するため分かり易い内容にできる。③の利点として外来で患者が待合室のパソコンを操作し供覧できるソフトを作成し、待ち時間の有効利用の可能性が示唆された。

いびき並びに睡眠時無呼吸症候群に対するレーザー治療

ささもと整形外科・形成外科クリニック

笹本良信

Laser Assisted Uvulopalatoplasty (LAUP) はいびきの治療としてすでに標準的な方法になっている。今回、今まで行ってきたLAUPについて報告する。

1) 対象

平成6年より平成14年9月までに1,282人の患者にLAUPを施行した。男性805人（平均年齢46.5歳）、女性477人（平均年齢44.8歳）。男女比はほぼ2：1であった。

2) 方法

軟口蓋を局所麻酔後、炭酸ガスレーザー装置を用い口蓋垂を水平に切除する。また必要に応じて後口蓋粘膜ひだも切除する。手術中の出血はなく、短時間に終了する。

3) 結果

術中のトラブルは全くなかった。術後6ヶ月以上を経過した評価では、著効、有効あわせ85%、やや有効10%、無効あるいは不明5%であった。術後軽い咽頭閉鎖不全を1例経験した。

公立福生病院医師会合同カンファレンス

2002.11.22 (金曜日) 12:30～ 於 公立福生病院会議室

『胸痛を訴えた一例』

福生市 高村内科クリニック 高村 宏

【症例】61歳女性

【主訴】血糖コントロール目的

【家族歴】兄弟に糖尿病あり

【生活歴】飲酒歴なし、喫煙歴なし

体重 20歳 48kg、過去最高体重 42歳 57kg

仕事ではあまり体は動かさないが、週に4回プールで40分運動する。

【既往歴】高血圧、脂肪肝

【職業】会社員

【現病歴】平成8年から糖尿病指摘され、某院通院。

オイグルコン5mg2×、レニベース2.5mg処方されていた。

プレタールは処方されたが服用せず。

血糖コントロールを目的に2002年5月8日初診。

眼科で網膜症の指摘なし。

【初診時身体所見】身長153cm、体重51kg、BMI21.8、体脂肪率27.3%、血圧156/88mmHg、結膜に貧血なし黄疸なし、甲状腺腫大なし、胸腹部に理学的異常所見なし、下腿浮腫なし、PTRおよびATRは正常。

【初診時検査所見】空腹時血糖144mg/dl、HbA1c8.7%、S-CPR1.4ng/ml、尿糖(-)

尿蛋白(-)尿ケトン(-)、Tc208mg/dl、HDL56mg/dl、TG112mg/dl、

GOT26、GPT30、γGTP146、WBC5220、RBC508万、Hb15.0、Plt20.5万

【初診後の経過】初診時の血糖コントロール不良のため5月13日にインスリン注射指導SMBG指導しヒューマカートN4単位就寝前を開始。

オイグルコンは2.5mg1×Mへ減量。

5月15日からレニベース5mg開始。

血圧156/88mmHg(5/8)、170/90(5/13)、170/84(5/15)、172/88(5/28)、

180/94(5/30)、150/90(6/13)、196/92(7/10)、156/80(8/5)、

(6/13)自宅での血圧133/83～171/81mmHg、(7/10)120～140/82mmHg

5月30日 腹部Echo：脂肪肝、右腎のう胞

7月10日 アムロジン2.5mg追加

外来の経過

	5/8	5/13	5/15	5/28	5/30	6/13	7/10	8/5	9/4
血圧	156/88	170/90	170/84	172/88	180/94	150/92	196/92	156/80	152/80
血糖	144					147	98	92	118
HbA1c	8.7					8.6	7.7	7.3	7.8

自宅で朝食前に測定した血圧

7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月18日
115/70	125/78	121/74	104/66	111/68	126/80

9月4日入院時、1ヶ月前から労作時に胸痛があるとの訴えあり。9月3日はプールで運動中に数分間胸痛が続いた。駅の階段でも数分間の胸痛がある。
EKGで異常あり、福生病院へ紹介。

【問題点】

5. 降圧薬はレニベース、アムロジンでよかったか。
6. 自宅での血圧はどのように評価するか。
7. 10月8日にフォルムでbaPWV 2461(右) 2363(左)と脈波伝播速度の高値を認めた。baPWV測定で冠動脈疾患の予測は可能か。
8. 初診時に冠動脈疾患のスクリーニングはどのようにするのがよいか。

〈解説〉

公立福生病院 循環器科 井 關 治 和

この症例は糖尿病の女性による狭心症発作である。女性の場合は、冠動脈疾患による突然死の2/3は前駆症状がなく、偽陽性所見も多いため診断が困難である。危険因子としては、糖尿病・高血圧・喫煙・脂質代謝異常・加齢・運動不足などがあるが、女性特有の危険因子としては糖尿病(女性はリスクが3.7倍;男性は2.3倍)がある。これら危険因子を有する女性は(特に糖尿病を有する場合は)積極的な狭心症のスクリーニングをすべきである。最近脈波を活用した狭心症予測の報告が散文されるがまだ試行錯誤の段階である。近い将来、有効なスクリーニング法となれば福音となる。高血圧コントロールには β 遮断剤・利尿剤・ACE阻害薬・ α 遮断剤・カルシウム拮抗薬など様々な種類の内服薬を用いるが、病態とエビデンスに応じて処方される(心不全に対するACE阻害薬や β 遮断薬など)。病院でのみの高血圧を“白衣性高血圧”と呼ぶが、よほど血圧がたかくなければ自宅での血圧評価を優先する。しかし白衣性高血圧患者も数年すると自宅でも高血圧を認めるので経過観察が大切である。

この症例は核医学検査で労作性狭心症の増悪と診断し左前下降枝95%狭窄に対してインターベンション治療を施行した。現在症状が消失し、紹介医のところで糖尿病加療中である。

『内胸動脈肺動脈瘻を形成した肺アスペルギローマの1例』

(公立福生病院内科、日野市立病院放射線科*)

○柴木謙次、松原弘明、矢田 税、若林寛二、中谷英章、鈴木利彦
栗原一浩、井關治和、北島和一、中谷矩章、三浦弘志*

症例は75歳、男性、主訴は血痰。1994年5月に健診で左上肺野に空洞を伴う浸潤陰影を認め、他院にて抗結核療法を施行された。この頃血痰を一時的に認めたが、その後血痰は消失していた。2002年8月20日に血痰が出現したため、当院に入院した。既往歴は1985年慢性硬膜下血腫手術、1994年糖尿病、高脂血症、一般身体所見に明らかな異常は認めなかった。入院時検査所見では、白血球12100/ul、CRP18.7mg/dl、血中アスペルギルス抗原は陰性であったが、喀痰検査でAspergillus nigerを検出した。胸部X線では左上肺野に浸潤陰影、中下肺野にスリガラス陰影と少量の胸水を、胸部CTでは左上葉の空洞内にFungus

Ball を認め、肺アスペルギローマと診断した。9月8日に大量咯血を認めたが、止血剤で咯血は小康状態となった。また抗真菌剤投与により、咯痰培養での *Aspergillus niger* の検出は減少傾向となった。しかし、その後も血痰や少量の咯血が持続したため、9月18日に気管支動脈造影と気管支動脈塞栓術も施行した。この際に内胸動脈造影も施行したところ、内胸動脈肺動脈瘻を認めた。気管支動脈塞栓術後も再度大量咯血し、その後も血痰と少量の咯血が持続していたことより、内胸動脈肺動脈瘻が出血源と考えた。内胸動脈肺動脈瘻は稀な疾患であり、その多くが先天性あるいは冠動脈のバイパス術後に生じることが報告されている。本症例のように慢性炎症に伴って形成された内胸動脈肺動脈瘻の報告はない。咯血症例においてルーチンで内胸動脈造影を行うことは稀であり、そのため本症が見過ごされる可能性がある。咯血をくり返す症例においては気管支動脈造影のみでなく、内胸動脈を含めた鎖骨下動脈領域の造影を行う必要があると考えられた。

公立阿伎留病院学術講演会

平成14年11月25日(月)

『未破裂脳動脈瘤 unruptured aneurysms : その対応と問題点』

公立阿伎留病院 脳神経外科 伊藤 宣行

I. はじめに

近年の脳の画像診断の進歩や脳の人間ドック、いわゆる〈脳ドック〉の普及により、無症候性脳血管疾患が高頻度に発見されるようになり、その対応が問題になっている。破裂、する前段階の未破裂脳動脈瘤がその最たるものといえるだろう。破裂した場合の重篤性を考慮すると治療が最優先されるべきであるが、いまだ脳動脈瘤の自然歴が十分に解明されていないことや、治療には少なからずリスクが伴うことが問題となっている。

II. 症候性と無症候性について

未破裂脳動脈瘤にも症候性である場合がある。大きさが増大する過程で、破裂せずに周囲の脳、神経を圧迫して症候を発現する。特徴はサイズが大きく、破裂する危険性が高く、よって治療の必要性が高い。特に片側の動眼神経麻痺(眼瞼下垂、複視一眼球運動障害、瞳孔不同)には注意が必要である。これらの場合は破裂例に準じ治療を急ぐべきである。現在問題となっているのは、無症候性、つまり他疾患の検査や脳ドックなどでたまたま発見されたもの(incidental aneurysm)であり、症候性と比較し、より小さく、破裂の危険性がより低いと考えられている未破裂脳動脈瘤である。

III. 未破裂脳動脈瘤が発見される機会

- 1) 多発性脳動脈瘤: くも膜下出血(SAH)の20~30%は脳動脈瘤が多発。
- 2) 他の疾患に合併: (1)脳血管障害に合併(脳梗塞5.3%、脳動静脈奇形6.4~16.7%、脳内出血など)。(2)脳腫瘍に合併(0.5%)。下垂体腫瘍への合併率が高い(7.4%)。(3)頭痛、めまいなどの検査にて発見(この場合の頭痛は慢性的でSAHを示唆する突発的なものではない)。(4)脳動脈瘤を合併しやすいとされる疾患には、fibromuscular dysplasia(21~51%)、大動脈縮窄症(2.5~10.6%)、嚢胞腎(7.3~41.2%)、Ehlers-

Danlos syndrome、Marfan syndrome などがある。これら疾患に遭遇した際には、MRA によるスクリーニングを施行すべきと思われる。

3) 家族的集積傾向がある (22.0~25.8%)

4) 脳ドック：現在は MRA を使用しており、sensitivity、specificity は80%前後と思われる。積極的に脳ドックを推進している札幌市の病院で3%前後に発見されたとのデータがある。

IV. 未破裂脳動脈瘤の保有率と破裂率

40歳以上（脳ドックの受診年齢）の2~3%が4mm以上（破裂する大きさ）の脳動脈瘤を保有すると考えられている。破裂率に関しては、従来年間1~2%と考えられていたが、現在再検討中である。多発例、高齢者、女性、後頭蓋の動脈瘤、サイズが大きいのなどが破裂しやすいと報告されている。喫煙との関連を示したデータもある。

V. 未破裂脳動脈瘤への対応

ひとたび脳動脈瘤が破裂した場合（SAH）の mortality は50%、morbidity は20%前後と考えられる。非選択的に患者を収容する杏林大学の救命センターでは、全 SAH 患者の約20%が搬入時、心肺停止状態であった。このように重篤な状態をひきおこすため未破裂脳動脈瘤治療の妥当性は十分あるわけであるが、手術死亡率1%、障害率4%とリスクを伴う。さらに脳梗塞合併例、高齢者、大きな動脈瘤、コントロール不良な全身合併症をもつものでは危険率が上昇することがいわれている。

VI. 今後の課題

1) まず、脳動脈瘤の自然歴（破裂率）を明らかにすることであろう。1990年代後半に未破裂脳動脈瘤国際共同研究 The Internal Study of Unruptured Intracranial Aneurysms Investigator (ISUIA) より、10mm未満の脳動脈瘤の年間破裂率が0.05%、および0.07%と報告され騒然となった。ただし、この調査にはいくつかデータ解析方法に問題点が指摘されており懐疑的にとらえている脳神経外科医も少なくなく、再検討した結果、2002年2月には、0.7%と修正された。本邦では日本未破裂脳動脈瘤悉皆調査 Unruptured Cerebral Aneurysm Study of Japan (UCAS Japan) を行っており、2002年5月の時点で約3000例、3700瘤が登録されている。この調査の中間報告でも年間破裂率は0.7%である。詳細は <http://ucasj.umin.ac.jp> を参照されたい。

2) 現在のところ開頭クリッピング術が治療のスタンダードであるが、ここ数年、血管内手術（コイル塞栓術）が着目されてきている。この方法の利点は、局所麻酔で施行可能であり、ハイリスク症例にも対応できること、直達手術で到達困難な動脈瘤も治療可能な場合があること、術後の抗けいれん剤投与が不要なこと、などである。一方、施行中破裂した場合の対応が遅れる可能性があること、合併症を来す危険が5%前後あること、術後経過中に動脈瘤が再造影されることがあること、長期予後が不明なこと、などの問題もある。最近、一般紙にコイル塞栓術の有用性を紹介した記事が掲載されたが、日本脳神経外科学会としてもそれぞれの長所を活かした治療を推奨しており、今後の検討が待たれる問題である。

『西ナイルウイルス (West Nile virus) 感染症』

公立阿伎留病院 神経内科 科長 小野 真一

疫学

West Nile virus (WNV) は1937年にウガンダでヒトから初めて分離された。WNV 感染症は1999年までは東半球でのみ見られていた。1957年にイスラエルで大規模発生があり、重篤な神経障害や死者が出ている。近年では、1996年ルーマニア、1999年ロシア、2000年イスラエルで大規模発生があった。西半球では、米国で1999年8月に初の患者が発生して以来、全米に広がっている。これはニューヨークで8例の脳炎患者が発生したことに始まる。うち5例は四肢筋力低下や呼吸筋障害を伴っていたため、当初 Guillain-Barré 症候群 (GBS) と考えられたが、検査所見は感染症を示唆していた。患者はいずれも16平方マイル内に住み、園芸を行うなど蚊が多く生息する環境と関連があった。その後、St. Louis 脳炎 IgM 抗体陽性から St. Louis 脳炎と診断された (これは、ウイルス学の項で後述する如く、St. Louis 脳炎ウイルスとWNV 間の cross-reaction の結果である)。一方、同時期ニューヨークで鳥の死亡が相次いだ。St. Louis 脳炎ウイルスに感染しても鳥は死亡することはないので、他の病原体検索の結果、西半球で初めての WNV 感染が明らかとなったのである。WNV 感染症は8月後半から9月上旬に発生のピークがみられる。1999年8月以来の累積 WNV 感染者は2002年12月11日現在全米で3829名、死者225名。日本では、現在まで輸入症例、国内感染のいずれも報告されていないが、WNV 感染症の日本での発生は、もはや時間の問題と認識されている。

環境

WNV は蚊 (Culex 属 (イエカ属)) と鳥によって保持されている (enzootic cycle)。春以降温暖な地で蚊は増殖し、この cycle の中で WNV の増殖も行われる。鳥とヒト両方を刺す蚊 (bridge vector mosquitoes) によって、ヒトにも WNV 感染が成立する。現在北米で29種の蚊からWNV が見つかっている。Culex 属がもっとも重要と考えられているが、ヒトへの感染源という観点から、どの蚊が最も重要かまでは判明していない。

ウイルス学

Flaviviridae 科、Flavivirus 属の RNA ウイルス (日本脳炎、St. Louis 脳炎の原因ウイルスと同じ仲間で、抗原性が類似。血清診断の際にこれらと cross-reaction がみられる)。

臨床像

潜伏期は3~14日、大多数は不顕性感染に終わる。感染者の20%が West Nile fever を発症し、さらにその約半数が医師を訪れる。

臨床症状：突発する発熱、その他に倦怠感、食思不振、嘔気・嘔吐、眼痛、頭痛、筋肉痛、発疹、リンパ節腫脹を伴うこともある。これらの症状が3~6日続く。一般報道では、脳炎・髄膜炎といった中枢神経障害が強調されているが、脳炎・髄膜炎を併発するのは150感染に対して1と稀である。しかし、年齢は重度の神経障害併発の危険因子である。50歳以上で神経障害の頻度は顕著に高くなる (0~19歳に比べ50~59歳は10倍、80歳以上は43倍)。入院患者の約半数に筋力低下が見られたのも特徴である。(高度な筋力低下を呈した患者は前述の如く当初 GBS と診断された。) ただし、髄液細胞増多、電気生理学的に脱

髄と軸索変性が混在（軸索変性優位）するなど典型的 GBS と異なる。脳症を伴う感染症患者で、四肢筋力低下を呈する場合には、WNV 感染症を考える必要がある。

予後と治療

米国での大規模発生による入院患者の致死率は12%で、高齢は致死率上昇の重要な危険因子。（75歳以上は若年に比較して9倍致死率が高い。）筋力低下を伴う脳炎例、意識障害例も予後不良。糖尿病、免疫不全があるとやはり予後不良。生存者の半数以上が何らかの後遺障害（易疲労感、記憶障害、歩行障害、筋力低下やうつ状態）を残して退院、独歩退院は1/3のみ。治療は対症療法・保存的治療にとどまる。ribavirin と interferon- α 2b の有効性が *in vitro* で示されているがコントロールスタディはない。ステロイドの有効性についてもコントロールスタディはない。

検査所見と診断

白血球増加～正常、リンパ球減少。時に、特に脳炎例で、低ナトリウム血症をみる。単核球優位の髄液細胞増多と蛋白増加、糖は正常。X線 CT は通常異常なし。MR-CT で髄膜の増強効果をみる。1) WNV が血液または髄液から分離される、2) WNV の遺伝子が血液ないしは髄液中に検出される、3) WNV IgM 抗体が血液ないしは髄液中に検出される、4) WNV IgG 抗体が検出され、かつベア血清で4倍以上の上昇がある、1)～4) のいずれかにより診断が確定する。ただし、血清診断では以下の点に注意する。Flavivirus 間の抗原性が類似しているので、日本脳炎、St. Louis 脳炎などとの間で、cross-reaction がみられる。多くの患者は無症候性で、しかも IgM 抗体は6ヶ月近く存在するので、感染症の症状のある患者から IgM 抗体を検出しても、その時点の感染症が必ずしも WNV によるものを意味するとは限らない。

予防

ワクチンはない。現在できること、取るべき措置は、行政レベルでは WNV を媒介する蚊の駆除、個人レベルでは蚊に刺されないようにすることである。具体的には、溜まった水、よどんだ水を抜くなど環境衛生管理の強化、殺虫剤の使用など。防虫剤としては DEET (N, N-diethyl-3-methylbenzamide) や pyrethroids (蚊取り線香、蚊取りマットの有効成分)、permethrin などの使用が推奨されている。

参考文献

- 1) The outbreak of West Nile virus infection in the New York City area in 1999. Nash D, Mostashari F, Fine A, et al. *N Engl J Med* 344 : 1804-1814, 2001
- 2) West Nile virus. A primer for the clinician. Peterson LR, Marfin A. *Ann Intern Med* 137 : 173-179, 2002

参考サイト

- 1) www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/resources/wnv-guidelines-apr-2001.pdf
- 2) www.mhlw.go.jp/topics/2002/10/tp1023-1a.html
- 3) www.nih.gov/vir1/NVL/WNVhomepage/WN.html

● **理事会報告** ●

★ Information ●

11月定例理事会

平成14年11月26日

西多摩医師会館

〔出席者：宮川・真鍋・玉木・新井・石田・神尾・小机・小林・坂本・瀬戸岡・葉山・細谷・森本・松原・足立〕

【1】 報告事項**1. 都医地区医師会長協議会報告** 宮川会長

① 第26回日本医学会総会について

平成15年4月4日から6日まで福岡で開催される。

② 東京都医師会主催都民公開講座について

「良い医療にめぐり合うために」というタイトルで、12月7日(土)にJ Aホールで開催。この様子は1月中旬に朝日新聞に掲載される。

2. 各部報告

総務部—第26回日本医師会総会登録推進について

本総会は上記の期間、福岡にて開催されるが、登録の割引期間は来年の1月末日となっているのでそれを活用していただきたい。登録料35000円が30000円になる。

学術部—平成13年度日本医師会生涯教育制度申告集計結果について

申告率は全国統計で、診療所75%弱、病院60%弱であった。

第一回西多摩医師会臨床報告会のご案内について

開催日時：平成15年3月19日(水)午後7時30分から9時30分

開催場所：青梅市立総合病院3階講堂

募集期間：平成14年12月1日(日)～平成15年2月17日(月)

3. 地区会よりの報告

各地区会で、西多摩医師会ホームページ内に作成中の各医療機関の紹介情報を一般に公開することについて話し合う予定。

【2】 報告承認事項**1. 入会会員について** —— 承認 ——

B会員 羽村相互診療所 1名

2. 国民健康保険診療報酬審査委員会審査委員の推薦について —— 承認 ——

整形外科 高木病院 高木 直

精神科 青梅厚生病院 唐橋善雄

任期 平成15年1月1日～平成16年12月31日

【3】 協議事項**1. 新年賀詞交歓会について**

平成15年1月18日(土) 青梅福祉センターにて開催される。

多くの会員の皆様の参加をお願いいたします。

[出席者：宮川・真鍋・新井・石田・小机・小林・坂本・瀬戸岡・葉山・細谷・森本・横田・松原・足立]

【1】 報告事項

1. 各部報告

総務部—多摩医学会が12月14日(土)に西多摩医師会の主催でフォレストイン昭和館にて開催された。

病院部—病診連携事業として公立福生病院のHP設立を支援する。

学校医—11月28日(木)西多摩学校医連絡協議会が開催された。

2. 地区会よりの報告

今月は各地区とも忘年会が予定されている。

3. その他報告

公立福生病院の新規建設計画に関する基本構想・基本計画が100頁に及ぶ答申書としてまとまった。

【2】 報告承認事項

1. 入会会員について — 承認 —

A会員 斎藤繁應(成木診療所・青梅)

2. 東京都福生高等学校学校医及び同定時制学校医(耳鼻咽喉科)の交代について

— 承認 —

(新)宮城真理 (旧)内山 大

【3】 協議事項

1. 平成15年度の事業計画の準備について(小机理事)

2. 次年度職員給料について(横田理事) — 承認 —

3. その他

「調査会社」等と称する者からの文書について(小机理事)

都医師会より「警告!」或いは「お知らせ」といった表題で調査費用の振込み依頼等の脅迫まがいの内容の手紙が会員宛に郵送される事態があることが通知された。当医師会員でも既に受けとった方がいました。もし脛に傷を持つ身でありましても、対応することなく西多摩医師会までご一報下さい。

学術講演会用のプロジェクター制御パソコンの購入について(玉木副会長) — 承認 —
西多摩医師会講堂にてパソコンによる講演ができるよう整備される。

お知らせ**事務局より お知らせ**

平成15年2月(1月診療分)の

保険請求書類提出**2月8日(土)**

— 正午迄です —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第二水曜日午後二時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談ください。

- ◎相談日 1月は8日(水)
2月は12日(水)の予定です。
- ◎場所 西多摩医師会館和室
- ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

訃報**波多野 英子様(94歳)**

福生市福生1046コヤマビル3F
波多野医院
波多野元久 先生(御母堂様)

去る11月20日ご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

訃報**関谷 美津子様(85歳)**

羽村市栄町1-14-46
(医社)求心会 栄町診療所
関谷進一郎 先生(御母堂様)

去る12月10日ご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

表紙のことば

富士のまわりではいつも雲がたわむれ遊んでいます。一日中みている、みあきない風景です。今年はどうな雲をみせてくれるでしょうか。

今年、元気な日本になりたいものです。

横田 博



あとがき

去年は、ワールドカップサッカーの日韓共同開催と、小柴さんのノーベル物理学賞および田中耕一さんの化学賞の同時受賞に沸いた1年でした。世界では同時不況の深刻な経済問題をはじめ、イラクの核査察から端を発した緊張状態と、隣の北朝鮮のミサイルの輸出、核再開発など世界の平和を脅かす事態が起きました。医療面では健康保険法が改正され、私たちの目の前に“3割負担”暗雲が立ちだかっています。

新しい年、平成15年は 未(ひつじ)年。干支発祥の地、中国では“未”は霊獣として尊ばれる神聖な生き物です。また、未年は、“暗いことを排除して、明るくする年”と言われています。私達を取り巻く環境は決してよいものではありませんが、世の中の世相を跳ね返す気運を持って前進したいものです。今年1年を振り返った時“未(いまだ)、何々にあらず”の年にならないよう、目的の実現に向けて邁進する年であることを願います。

馬場眞澄

『平成15年 新年賀詞交歓会』

日時：平成15年1月18日(土) 午後6時

場所：青梅市福祉センター

社団法人 西多摩医師会

平成15年1月1日発行

会長 宮川栄次 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 葉山 隆

森本 晋 石井 好明 池田 譲治 坂井 也彦
鈴木 道彦 込田 茂夫 馬場 眞澄

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……
(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659



**FOR QUALITY OF LIFE
SINCE 1955**

臨床検査のフロンティア
保健科学研究所は
21世紀の医療と健康を
バックアップします



株式会社 **保健科学研究所**

● 本 社 〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 045-333-1661 (大代表)